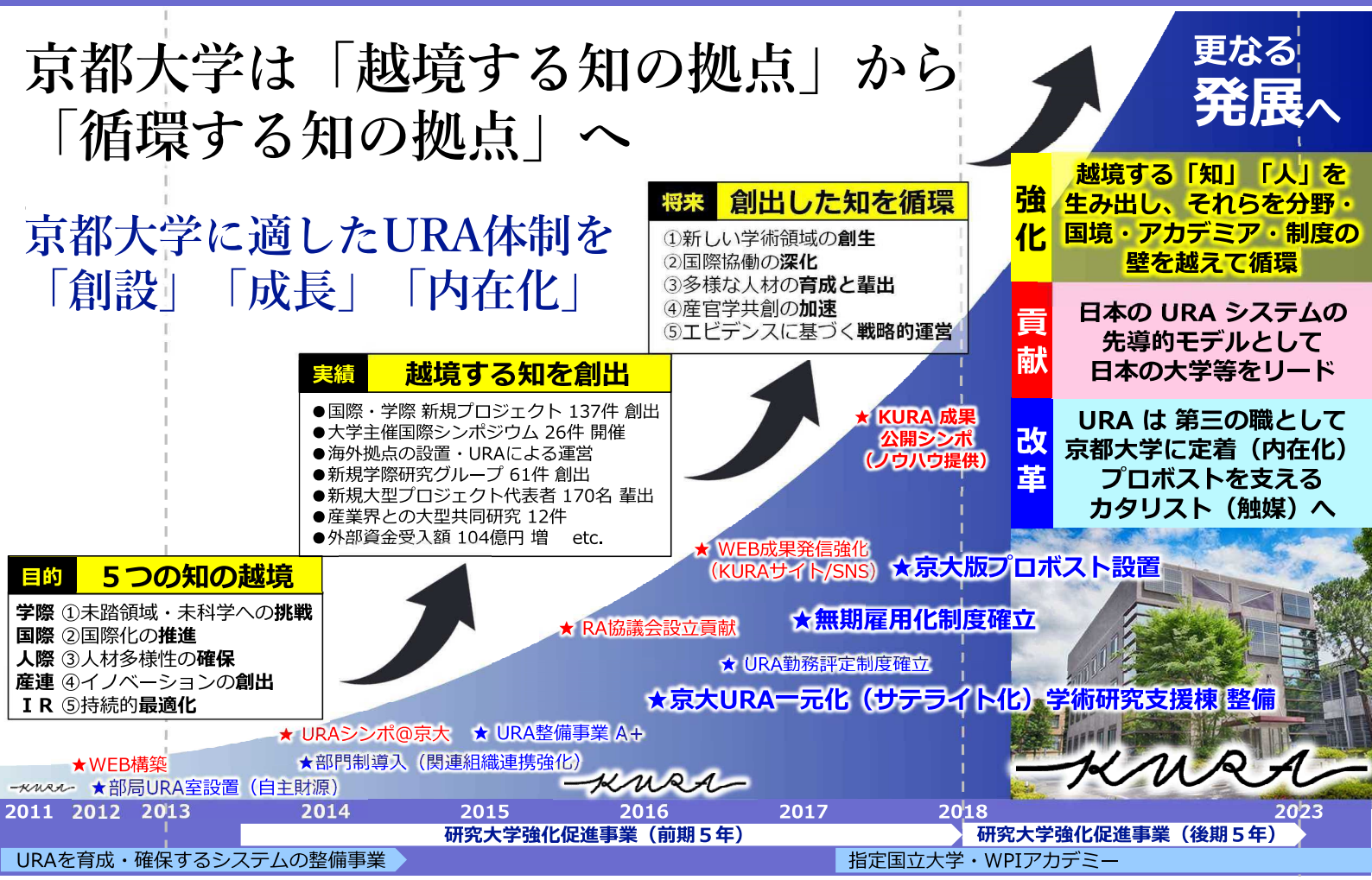
「研究大学強化促進事業」中間評価
進捗状況概要　京都大学



中間評価結果
評点区分：　S
全体に対する所見
当初計画は極めて順調に進捗しており、多様な取組を組み合わせて目標を上回る実績を上げている。人文･社会科学系研究支援プログラムの構築も、全国的なロールモデルとして成果が期待され、これまでの取組を一層発展させ、着実な目標の達成が期待できることから、高く評価できる。
当初構想･計画の進捗状況に対する所見
学長のリーダーシップにより事業統括体制･実施体制が確立しており、URA のキャリアパスの明確化、KURA による研究力強化、IR シンクタンク等「全学一元化体制」による多面的･先進的な取組は高く評価できる。
今後5年間の将来構想に対する所見
自主財源による URA の雇用が既に始まっており、定着化への努力がなされている。また、社会的課題解決への取組、産学連携に向けた取組は画期的であり、着実な実施による目標の達成が期待できる。